

<p><b>1 学校教育目標</b></p> <p>自由と平和を尊び創造的で自主精神に充ち、心身とも健康な自己教育力の高い国際社会人を育成する。</p> <p>①豊かな情操と人間尊重の態度の育成      ②基礎学力の充実と創造的思考力の育成      ③個性・能力の伸長と進路選択能力の育成                  ④自由と責任を重んじる民主的態度の育成      ⑤公正な判断力と社会適応能力の育成      ⑥健康な心身の育成</p> <p>中・長期目標・・・建学の精神を踏まえ、すべての生徒がその個性・能力を最大限に伸ばすことを願い、人格形成のために必要な基礎基本を重視し、ゆとりある、しかも、充実した学校生活を送らせ、教養と専門技術に習熟し、社会の急激な変化に対応できる創造性と思考力に富み、国際的に個性豊かな心身ともに健全な生徒を育成する。</p>
---

<p><b>2 現状分析（前年度の評価と課題を踏まえて）</b></p> <p>① 基礎学力が不足している生徒が多く、全学年学科において基礎学力向上の取り組みに迫られている。                  ② 新入生の懲戒処分者が多く、入学時より中学校と高等学校の違いを理解させ、きめ細かな指導をすることに迫られている。                  ③ 生徒の進路実現に向け、生徒個々に対しきめ細やかな指導が必要である。                  ④ 部活動加入の加入率を高めるとともに、特に女子及び文化部の加入率を高め活性化を図る必要がある。                  ⑤ 全学科コースの特色ある取組および結果を見出し、受験生への広報が必要である。                  ⑥ 学校運営目標を達成するために、事前の打ち合わせおよび調整、教職員の業務内容、質および量を精査する必要がある。</p>
--

<p><b>3 本年度重点目標を置いて目指す成果・特色、取り組むべき課題</b></p> <p>① PDCAサイクルの通り、各教科基礎学力の定着に努める。                  ② 基本的な生活習慣の体得に努める。                  ③ 生徒一人一人を大事にするキャリア教育に努める。                  ④ 部活動の加入率を高め、学校行事や部活動等の活性化に努める。                  ⑤ 中学校との交流を深化し、本校に求める情報等入手し、学校運営等に反映させる。                  ⑥ 分掌間の情報を共有し、交流を深化させ、OJTの推進に努める。</p>
--

分掌	重点目標	具体的方策	評価基準	達成度
1 学年	①基本的な生活習慣の確立した高校1年生らしい生徒の育成 ②学科・コースごとの学習意欲の向上 ③積極的な部活動への加入と参加	○授業中のみならず、休憩時間や昼休みに生徒の顔を見に行く ○月に2回程度、学年終礼の実施 ○それぞれのレベルに合った朝学の実施 ○部活動参加状況の調査	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	3
2 学年	①基本的な生活習慣の確立・保護者との連携の徹底 ②場に応じた身なり・言動の徹底 ③進路目標を定め、それを達成させるための基礎学力の徹底	・週1回の学年朝礼の開催 ・自教室や自分の物を大切にし、心地よい環境作りのための美化活動の徹底 ・検定や資格取得への積極的な挑戦	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	2
3 学年	①全員卒業「ただ卒業させない。満足して卒業させる」 ②結果を出す学年 教職員がプレッシャーを感じて取り組む(Challenge)	○ HR 運営の充実 ・朝学の充実 ・個人点呼の実施 ・「聴く力」をつける ○ 楽しい学級(出席率の向上) ・学校行事に本気で取り組ませる ・「一生懸命」「真面目」が評価されるクラス ○ 進路実現(スキルアップ) ・学力向上(朝学、総合学習) ・進路実現に向けてチャレンジ(ワンランク上を目指す) ○ 進路決定後の取り組み ・スキルアップ、基礎学力の見直し	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	3
特進	①結果を出す ②生徒・教員・保護者が一体となって志望校合格を目指す(最終目標:歩留まり率up)	①共通:朝学を充実させ、学習に対する雰囲気作り ②学年 1年:英数国を2年次までに偏差値55(7割) 2年:受験生への意識・学習スタイルの確立 3年:第一志望合格 ③3年間の育成プログラムを構築	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	3
進学	進路に対する意識の啓発をし、明確な進路決定をさせ、進路の実現に向け、合格を目指す。	1 学年:進路を意識した基礎学力の向上 朝学の実施 2 学年:朝学の実施 進路選択のレベルを上げるための基礎学力向上 3 学年:朝学の実施(基礎学力の見直し) 課外授業への参加(家庭学習の習慣化) オープンキャンパスへの積極的参加 進路を明確にし、チャレンジさせる。	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	3

キャリア	①社会・職業に関する現実的理解を深める。 ②協働する力をつける	・キャリア発達段階における4つの課題 1 自己理解の深化と自己受容 2 勤労観・職業観の確立 3 将来設計の立案と社会的移行の準備 4 進路の現実興味と試行的参加 これらを達成するために ①グループ学習協働活動に取り組む ②職場体験学習の実施 ③外部講師等によるキャリアガイダンスの実施 ④ビジネスコミュニケーション検定受験	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	2
アーティスト	①進路実現にむけて、自己教育力の育成 ②地域貢献活動への参加 ③進学率をあげる	・美術系専攻者に対する取り組み 美術館での鑑賞。作品の出版。作品展の開催。 ・芸能系専攻者に対する取り組み ラジオ番組の継続・発展させる。映像作品の発表の場をつくる。各種のコンテストに参加する。 ・冬のツリー祭り、つつじ祭りなどの多くの地域イベントへの参加 ・高・専・大との連携 ・進学情報の提供とオープンキャンパスへの参加促進	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。:	4
商業科	①授業環境を整える ②学力の向上	・名札の着用、始業&終業の挨拶をきちんとさせる。 ・販売実習やイベントボランティアなど校外活動に参加し、実践の場を作る。 ・ビジネス文書検定の3級合格率80% 電卓検定の3級合格率90%	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	4
電気科	①第2種電気工事士の合格率80%以上 ②ものづくり技術の習得	○学校内検定の実施 ・電気工事士検定(筆記・実技) ・朝学と放課後補講の充実 ○ものづくりフェスタなど、外部イベントへの積極的な参加 ・設計から製作、運営までを行う	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	3
総務部	①報連相の徹底 ②PDCAサイクルで各行事の見直しを図り、迅速に対応する	・行事の企画案は2か月前の企画委員会に提出することを目標とする。 ・各行事ごとに打合せを開き、関係部署との間に連携漏れがないか確認する。 ・行事終了後は各部署より気付き等を聞き、次の行事に生かせるように記録する。 ・部内メンバーで仕事・情報の共有を図る。	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	4
教務部	①教育活動の活性化 ②円滑な学習活動のための環境整備 ③教員研修の実施 ④情報管理の徹底 ⑤道徳教育の実施	・時間厳守 ・教員等の不足を常に点検し迅速な対応に徹する ・校内外の研修会の案内を徹底する ・生徒の在籍に関する情報管理 ・教育相談や人権教育との連携し、学期に1回の実施	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	3
	[教育相談室] 中途退学者の減少	・出席状況の把握 ・不登校および悩みを持つ生徒への指導 ・別室登校生徒への対応 ・スクールカウンセラー(SC)による毎月2回の対応。 生徒本人や保護者との直接面談。	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	3
	[情報処理・視聴覚室] (情報処理室) ・施設・設備の点検 (視聴覚室) ・学校行事の放送準備・運営の徹底 ・学校行事の映像撮影・記録・管理	(情報処理室) ・機器の点検を定期的実施し、不備があれば記録に残す ・機器等の故意による破損や汚損を防ぐため、啓もう活動を行う ・必要に応じてIT統括班に機器の発注や修繕等を依頼する (視聴覚室) ・事前準備において、すべての機材の動作を確認 ・リハーサルなどを十分に行い、当日円滑な運営ができるようにする。 ・機器のリニューアル(ワイヤレスマイク、プロジェクタ、スクリーンなど)	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	4
[図書室] 図書室の活性化	①図書委員の積極的な活動 ②図書だよりを出す(月に1回) ③来室者を増やす ・生徒が入りやすい図書室づくりが行っているか。 ・自習室としても活用できているか。	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	4	
生徒部	①問題行動発生防止 ②服装・頭髮指導の徹底 ③自転車事故の減少	・全教員による挨拶・服装指導の実施 ・校内外の巡視の実施 ・服装・頭髮検査の実施 ・各種安全教室の実施	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	2

特別活動部	環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会各委員会活動の活性化</li> <li>学校行事への計画的な取り組み</li> <li>体育部の活性化</li> <li>文化部の活性化</li> </ul>	<p>4:十分に達成できた。</p> <p>3:おおむね達成できた。</p> <p>2:取り組んだが十分に達成できなかった。</p> <p>1:計画のみに終わった。</p>	3
進路部	<p>①基礎学力の向上</p> <p>②進路情報の適正な情報提供とデータ活用</p> <p>③定期的な会議を開き、実施点検と評価改善を行なう(PDCA サイクル)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学力の向上 D3からD2へ</li> <li>①ベネッセデータの分析と活用</li> <li>適正な進路情報の提供</li> <li>①「進路だより」の定期的発行</li> <li>②保護者向け進路説明会の実施</li> <li>③適確な進路ガイダンスの実施</li> <li>定期的会議実施で PDCA 実施</li> </ul>	<p>4:十分に達成できた。</p> <p>3:おおむね達成できた。</p> <p>2:取り組んだが十分に達成できなかった。</p> <p>1:計画のみに終わった。</p>	2
	<p>[進学指導]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実力の養成</li> <li>2020年対策</li> </ul>	<p>①進学課外と補習課外の実施 対面、Classi、</p> <p>②各教科との密な連絡 単元テスト実施依頼、進度、模試分析</p> <p>③2020年対策のための会議の招集</p>	<p>4:十分に達成できた。</p> <p>3:おおむね達成できた。</p> <p>2:取り組んだが十分に達成できなかった。</p> <p>1:計画のみに終わった。</p>	2
	<p>[就職指導]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>就職試験対策の強化</li> <li>企業との連携、求人開拓</li> <li>職業理解教育実践</li> </ul>	<p>①3年生就職希望者課外の実施</p> <p>②ミスマッチを防ぐための早期面談指導</p> <p>③企業訪問及び求人開拓の強化</p> <p>④追跡調査の実施</p> <p>⑤職業理解教育のためのアセスメント活用講習や職場見学実施に対する支援</p>	<p>4:十分に達成できた。</p> <p>3:おおむね達成できた。</p> <p>2:取り組んだが十分に達成できなかった。</p> <p>1:計画のみに終わった。</p>	2
保健環境部	<p>健康・安全教育の徹底</p> <p>環境美化の徹底</p> <p>安全防災教育の徹底</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期健康診断の計画・実施、事後措置</li> <li>日常点検の強化</li> <li>ゴミ分別・リサイクル意識の推進</li> <li>避難訓練の実施 毎学期実施</li> </ul>	<p>4:十分に達成できた。</p> <p>3:おおむね達成できた。</p> <p>2:取り組んだが十分に達成できなかった。</p> <p>1:計画のみに終わった。</p>	3
	<p>[保健室]</p> <p>健康教育の徹底</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健に関する情報の発信</li> <li>要管理生徒の状態を的確に把握する</li> <li>健康診断で発見された疾病異常の早期受診指示及び継続管理の徹底を図る</li> </ul>	<p>4:十分に達成できた。</p> <p>3:おおむね達成できた。</p> <p>2:取り組んだが十分に達成できなかった。</p> <p>1:計画のみに終わった。</p>	3
生徒募集部	<p>総受験者数 1,500 名</p> <p>入学手続き者数 240 名</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校訪問実施(定期・不定期)</li> <li>イベントの企画・運営</li> <li>本校生徒の積極的活用</li> </ul>	<p>4:十分に達成できた。</p> <p>3:おおむね達成できた。</p> <p>2:取り組んだが十分に達成できなかった。</p> <p>1:計画のみに終わった。</p>	3
事務室	<p>予算管理を徹底し健全な財務体質の構築に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各科・係予算要求書に係るヒアリングの実施。</li> <li>積算根基に基づく予算の執行管理。</li> <li>光熱水費の経費削減対策の実施。</li> </ul>	<p>4:十分に達成できた。</p> <p>3:おおむね達成できた。</p> <p>2:取り組んだが十分に達成できなかった。</p> <p>1:計画のみに終わった。</p>	3

## 5 学校関係者評価

● 田中賢一（元教諭・徳山地方郷土史研究会顧問）

### 概評

県内私立高校は、それぞれ歴史と伝統に支えられ、私学でなければ実現不可能な特色ある教育と時代に即した学校運営を追求しながら共存している。

しかし、共通した課題をいくつか抱え、試行錯誤を繰り返しながら教員集団は苦悶と奮闘に明け暮れているのが現実ではなかろうか。

本校においても、近年各分掌ごとに4段階評価基準を定め、数字化し自己申告させ、その結果内容を総合的に細かく診断・分析し達成状況を次年度に引き継ぎ、校長の指示も加え課題解決の全校体制を整備しつつあり顕著な成果も見られるようになった。

#### ○評価基準

4：十分に達成できた 3：おおむね達成できた 2：取り組んだが十分に達成できなかった

1：計画のみに終わった

### ◇各分掌評価（結果）

#### ○分掌（21）

1、各学年（3）・・・合計 8⇒平均 2.7

2、各科・コース（6）・・・合計 19⇒平均 3.2

3、各部・室（12）・・・合計 41⇒平均 3.7

評定平均⇒ 3.2

### 少数者への対応

#### 1、基礎学力不足生徒対策—私学の存在が問われる（永遠の課題）

特に就職希望の生徒には、入学時から進路目標設定（自覚）を期すため、教員の労働過重が問題視されるが、あらゆる機会に視聴覚教材活用・卒業生の体験発表・工場見学・地元大中小企業の人事担当者・ユニークな企業成功者の講演・座談会等の企画を立案し、きめ細かな指導を徹底させ、現代の企業労働者として働くには、最低これくらいの学力（読み・書き・基礎的計算）や常識が要求されるものであることを中心に継続的に指導し、職業観の確立をも目覚めさせる（マニュアル設定）。 **キャリア評価2**

#### 例 小学校高学年～中学校

基礎知識についてテキストを作成し繰り返し演習実施：朝学・課外（長期休暇等も活用）・学習課題を提供し家庭学習の習慣化をも体得させる。

#### 2、基本的な生活習慣の体得対策

##### ① 懲戒処分者の削減対策（50人⇒26人）

この報告に接し評価したい。ただその内容が問題視される。例えば喫煙行為に例をとると、学校として学校敷地内で全面禁煙を実施しているかどうか、教員の強い意志等が生徒に大きく影響を与えるということもあるようです。即ち全校挙げて健全な校内環境整備の確立です。全面禁煙は山口県下の公立高校で100%、私立高校で約80%実施されているようです。ちなみに国では20年東京五輪・パラリンピックを見据えて、全国の小中高校、大学での屋内全面禁煙を定めた法案を提出しています。

2

##### ② 女子生徒の化粧対応

2年生の学年朝礼日に服装・頭髪指導を行ったが、女子生徒の化粧などの対応に苦慮し、最後に生徒指導部の力を借りなければ収拾がつかない状態であったとの報告に接し驚いています。これらの指導については、とかく人権問題視されがちになり、一般の教員はどうしても委縮してしまい、安易に生徒指導部に依存する傾向が強いと見られます。私が現役時代にも同様な体験をしたことがありましたが、それぞれの分掌が先ず主体的に機能を果たすことが要求される事例だと思えます。

学年主任は生徒指導部の構成要員ではないのでしょうか。また、学年ごとの担任兼務の生徒指導部の担当者は配属されていないのでしょうか（教員配置の欠陥と主体性の欠如?）。こうした指導について平素授業担当者や担任・或いは学年会議・学年主任会議・生徒指導会議・職員会議・保護者会等でそれらの兆候について情報交換が充分されているのでしょうか。

それから、生徒手帳に示されている生徒心得の徹底や、教員の私意を挟まないで済む具体的な指示が出来る

マニュアル（基準）作成と、それらを教員が一丸となり全生徒に周知徹底させることが急務であると思います。

## 2 学年・生徒部評価 2

### 安定化した進学実績

#### 1、特進コース

1年時より、学習意欲向上のためのクラス内の雰囲気づくりや、主要3教科の偏差値アップ、受験生としての意識・学習スタイルの確立、第一志望校に全員合格等を目指すために、生徒・教員・保護者が一体となって取り組んだ結果、難関・中堅国公立大学（関東・関西・中国・九州）、難関・中堅私立大学（関東、関西・中国・九州）へ一人複数校合格するという好結果を出しました。特に地元国立大学の医学部に再度合格者を出したことや、近い将来には合格者を2桁台に乗せる目標が一步近くなった観が強く、後輩に大きな刺激材料になった筈です。こうした展望から近年の傾向として、これらは受験生の偏差値が平均して向上して来たことに起因する現象だと思われます。 **特進評価 3**

#### 2、進学コース

1年時より進路意識の高揚と基礎学力の向上、朝学の実施（基礎学力の見直し）、課外授業への積極参加、家庭学習の習慣化、オープンキャンパスへの積極的参加、進学指導室の充実強化（資料収集と情報公開・適切な分析提供・きめ細かな助言・進路相談等）により、客観的に見て昨年度の進学状況は近年では最高の評価に値するものとなっています。但し、1，2コースともに分掌評価は将来を見越してか控えめとなっています。

### 進学評価 3

### 検定試験の高合格率

#### 1、商業科

就職後即戦力に繋がる諸検定（ビジネス文書・珠算電卓等）の高合格率や商店街に出店時の販売実習マナーは市民から好感をもたれました。新規求人活動に好影響を与えたと思います。

### 商業科評価 4

#### 2、電気科

第2種電気工事士検定に多数の合格者（18名）を出し、特に県内企業の求人応募に応える好材料となったことは確かであります。 **電気科評価 3**

### ● 保護者意見

①体育祭を土曜日か日曜日に開催してほしい。

②Classi の利用方法について

- ・定期テストの成績を配信してもらいたい。
- ・授業の様子を配信してもらいたい。
- ・配布物や提出物等を配信してもらいたい。
- ・休校等の情報の配信をお願いしたい。
- ・英検、漢検、進路相談会の案内も配信していただきたい。

## 6 学校評価総括（取組の成果と課題）

・基礎学力の向上を毎年最重点課題として取り上げてはいるが、29年度を取組としては1年生に対し本校の入試問題を再度実施させた。これにより、入学前の学力と後の学力の比較等を行う事が出来、現状を把握する事が出来た。また、学び直しにも役立った。結果としては4月に1回7月に2回目を行ったが得点は上昇傾向であった。その他各学年各クラスで独自に朝学等の取組も行っている。少しずつ変化は見えているが、ただ全ての生徒に対し目覚ましい結果が出ているわけではない。

・生徒のマナー向上については、生徒指導を中心にあらゆる機会を捉えて指導をしている。日常からの服装・頭髪指導はもとより、登校時における教員全員による挨拶運動、休み時間の校内巡視や自転車乗車マナーを含めた登下校時の校外指導等を行った。広く人権意識の課題にリンクさせた一貫した指導より、問題行動による処分者も50人から26人へ減少した。ただ女子生徒の化粧の問題が発生し始め対応に苦慮した所が見受けられた。

・進路指導では、就職希望先の企業との情報交換が十分行われ、好景気の追い風も受け学校推薦希望者の内定率は100%である。本年度は電気科において電気工事士に18名の合格者を出す事が出来その多くが資格による専門的職業に就く事が出来た。この18名という人数は本校始まって以来である。理由としては外部より招聘している専門の先生の力に頼るところが大きい。

進学については、国公立に15名の合格者、また有名難関私大にも多くの合格者を出し近年にない好成績であった。この背景には、優秀な生徒の入学もあったが、その後の勉強合宿や様々な取り組みにおいて、着実な学力の向上を達成できたことが第一と考える。

- ・特別活動として、学園祭や文化講演会等の学校行事は、実行委員会や生徒会を中心に取り組み、円滑に運営・開催できた。部活動においては、陸上・剣道・スキー等の全国大会出場をはじめ、バドミントンなど中国・県内大会で上位の成績を収めた。また、ダンス・美術部・商業などの地域と密接に連携しての活動や、ボランティア部の子ども食堂への支援等、地道な活動も高く評価されている。オーストラリア・キャセドラル学園との交流は'92年に始まる長い歴史を持ち、隔年の訪問となり今年度はキャセドラル学園より留学生を受け入れ、来年度は夏休み本校より2週間訪問する予定である。
- ・今回の入試よりA.O入試（自己推薦）を新たに始めたが、この入試により28名の生徒を獲得した。現在のところこれらの生徒は第一希望で入学してきたため積極的な姿勢で活動に励んでいる。

## 7 次年度への改善策

- ① 平成32年度大学入試の改革に向け、教員の指導力がさらに求められるようになる。そのために校内において研究授業、授業参観などの積極的実施により、教員の授業力の向上に努める。
- ② 指導力向上のため校外研修等への積極的に参加させ、教職員の様々な分野における指導力の向上に努める。
- ③ 生徒にあった進路指導に努め、個々の目標をクリアできる実力・資格の取得に努め実力の養成を計る。
- ④ 部活動の加入率を高め各クラブの活動を活性化させる。
- ⑤ 中学校との交流を深めるとともに、校内の学習状態、生活状態等をしっかり把握し退学者の減少に努める。この事の実現こそが今後の生徒募集の成功につながる。
- ⑥ 退学者の減少が喫緊の課題であるが、解決の第一は理解できる授業の実施が不可欠である。そのための方策をもとめ実施していかねばならない。